

# 品質・環境報告書

## 2020



中京化成工業株式会社

# 活動レポート(品質・環境) - 2020 -

中京化成工業(株)は、1999年11月26日にISO9001の認証取得に続き、2004年6月18日にISO14001の認証を取得しました。

継続運用している中で2015年版改訂にも早期に対応し、2016年にISO9001を2017年にISO14001の移行を完了しております。

この間も、品質と環境のマネジメントシステムを可能な限り共通化して設定・運用するように努めて参りました。そこで次なるステージに向け、2019年度にその両マネジメントシステムの統合審査への移行を実施し、今年度は確実な運用を目指して更なるステップアップを推進しました。

## 品質・環境方針／品質・環境目標

### 品質・環境方針

当社は、品質・環境マネジメントシステムの最上位の「基本方針」に当社の取り組む決意と姿勢を表明すると同時に、より具体的に、かつISO9001、ISO14001規格に適合した「品質・環境方針」をまとめて制定しております。

「品質・環境方針」 2016年6月制定

#### 品質基本方針

- ① 我社の製品は常に優秀である。
- ② 我社は製品の品質で勝負する。

#### 環境基本方針

- ① 我社は自然と共生することに最大の関心を払う。
- ② 我社は環境配慮型製品の開発を進める。

#### 品質・環境方針

1. 当社の各事業活動、製品及びサービスを踏まえた品質・環境マネジメントシステムを構築します。また、蓄積された潤滑理論をベースに自動車関連、グリース関連、工業用機械関連、金属加工関連、離型・剥離剤関連、洗浄剤関連などの分野で顧客と地域社会に貢献します。
2. 変化する諸条件及び情報を反映した品質・環境目標を事業年度毎に設定し、運用し、定期的に見直すことにより、品質・環境マネジメントシステムの有効性の継続的改善に努めます。
3. 環境法規、条例、規制や当社が合意したその他の要求事項を順守します。
4. 顧客満足の上昇、環境負荷の低減と汚染の予防及び環境保護に努めます。
5. 全従業員に教育訓練と啓蒙活動を実施すると共に、ビジネスパートナーに対しても理解を求め協力して運用します。

#### 品質・環境マネジメントシステムの適用範囲

本品質・環境マネジメントシステムは「取り組みの計画策定シート」の記載内容を考慮し、その適用範囲は各種潤滑油、金属加工油、グリース、不凍液、離型剤などの製品の設計、開発、製造、引渡しにわたる品質・環境に関わる全ての業務・サービスとします。

品質・環境に関するサイトは本社・工場（中京化成工業株式会社 愛知県刈谷市今岡町西吹戸10番地1）のみとします。

この方針及び適用範囲は、文書化し広く一般に開示します。

2016. 6. 1

中京化成工業株式会社  
代表取締役社長  
廣野 拓

## 2020年度 品質・環境目標

「品質・環境方針」をベースに、当社の活動・製品・サービスから特定された「著しい環境側面」、法的及びその他の要求事項、当社を取り巻く内外の課題、更に利害関係者のニーズと期待より、「リスクおよび機会」を特定しております。さらにこれを考慮して各年度に「全社目標」、「品質・環境目標」を決めて対応し、その施策の実現に取り組んでおります。

### 全社目標（品質）

- ① 顧客重視
- ② 品質（Q、C、D）管理の向上
- ③ 供給者との互惠関係の強化
- ④ 予防処置

### 全社目標（環境）

- ① 環境配慮型製品の開発と販売促進
- ② 資源・エネルギー・廃棄物の削減
- ③ 法規制及び組織が同意するその他の要求事項の順守
- ④ 予防処置

部 門	品質・環境目標	
	内 容	目 標 値
営業部 潤滑油グループ	顧客の要望している環境配慮型製品の販売 （エンジンオイル：省燃費エンジンオイル 鍛造油：油煙対策油・汚れ対策油・臭気対策油・再生油・ CLフリー油・鉛フリー油・ボンデフリー油・他）	年間売上 15,350万円
営業部 化成品グループ	顧客の要望している環境配慮型製品の販売 （水溶性離型剤（ラッシュコート）・水溶性エアゾール）	年間売上 3,800万円
業務購買部	外注先要因によるクレーム防止	0件
	出荷完了時間 17:00	下期：100%
	業務内容のシンプル化	6件
製造部	不良品流出【製造部起因】	0件
	原材料管理	整合率±3%
技術研究所	潤滑油グループ	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発 1,800万円
	化成品グループ	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発 900万円
	合計	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発 2,700万円
品質保証部	調整件数の削減の為 製造部と定期的に打ち合わせを行う	12件
	電気使用量の削減	2019年度実績以下
総務部	顧客重視	14件

2020年度 品質・環境目標&実績

各関係部門において「品質・環境目標」を設定し、その達成に向けて取り組みました。仔細は次頁の通り。

		部 門	環境目的	目標	実績	評価
1. 増 業績の向上	営業部 潤滑油グループ		顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 15,350 万円	12,378 万円	m( )m
	営業部 化成品グループ		顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 3,800 万円	3,618 万円	( )
	技 術 研 究 所	潤滑油グループ	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	年間 1,800 万円	2,432 万円	\(^o^)/
		化成品グループ	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	年間 900 万円	5,433 万円	\(^o^)/
		合計	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	年間 2,700 万円	7,865 万円	\(^o^)/
	品質保証部		製造部と打ち合わせ	12 件	12 件	( )
	総務部		顧客重視	14 件	14 件	( )
2. 減 不具合の削減	業務購買部		外注先要因によるクレーム防止	0 件	1 件	m( )m
			出荷完了時間 17:00	下期 100%	66.7%	m( )m
			業務内容のシンプル化	6 件	6 件	( )
	製造部		不良品流出【製造部起因】	0 件	5 件	m( )m
			原材料管理	整合率±3%	-11.1%	m( )m
	品質保証部		電気使用量の削減	2019 年度実績以下 (40.7kW/LOT)	39.7kW/LOT	( )

評価の凡例

\(^o^)/ : 目標値を 10%以上達成しました！

( ) : ほぼ目標値

m( )m : 目標値の 90%以下に終わりました

各部のコメント

テーマ	部門	達成率（目標対比）	コメント
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業部 潤滑油グループ	80.6%	エンジンオイルはほぼ目標達成も鍛造油が大きく低迷致しました。コロナ禍による自動車部品業界の上半期の鈍化が影響しました。原因は明確ですので次年度も同様の取り組みにて再チャレンジします。
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業部 化成品グループ	95.2%	前半の6月まではコロナの影響を受けて大きく落ち込みましたが、後半は順調に推移し次年度につながる活動ができたかと思っております。
顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	技術研究所 潤滑油グループ	135.1%	自動車業界の多くのユーザーで輪番休業や出社制限を実施したことで開発品のテストが進まない1年でした。製品群が自動車業界への依存度が大きいいため、次年度は他分野へアプローチできる製品も視野に入れて開発を行っていきます。
顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	技術研究所 化成品グループ	603.7%	本年度は大きな案件が決まり目標を大幅達成することができました。開発品の件数も20件と多くなっております。
製造部と打ち合わせ （調整件数の削減）	品質保証部	100%	コロナの影響により実際に会議できた日数は多くありませんが、この打ち合わせにより実際に調整件数は減少しており非常に有効な取り組みであったと思います。
顧客重視	総務部	100%	今年度はワークシェアを進めてマニュアル作成に専念したため中身の精度が十分ではないところがありました。今後は維持管理も考えて生きたマニュアルになるように手直ししていきます。

各部のコメント

テーマ	部門	達成率（目標対比）	コメント
外注先要因によるクレーム防止	業務購買部	1 件	長年の懸案であるエアゾール製品の外注先要因によるクレームを今年も防ぐことができず申し訳ございません。今年度対策した改良を早急に進めエアゾール製品のクレームが0件になるよう対策して参ります。
出荷完了時間 17:00	業務購買部	66.8%	出荷量が少ない時期は良い結果でしたが、11月以降は景気回復に伴い製造待ちや出荷遅れのため低調な結果となりました。
業務内容のシンプル化	業務購買部	100%	担当者のメモや記憶に頼っていた案件をPC管理で把握できる仕組み作りなど、誰でも分かり易い内容にすることができました。次年度も日々の作業に疑問を持ち効率UPできる方法を考えていきます。
不良品流出【製造部起因】	製造部	5 件	上期に不良品流出が集中してしまいましたが、タブレットで包装仕様書を現場確認する仕組みを導入して後は無事0件で終わることができました。また、2019年度はラベルのミスが多くありましたが、今年度は0件でした。次年度も継続してミスのないよう取り組んで参ります。
原材料管理	製造部	27.0%	一部の原料で見える化は行えたものの、年間を通じて差異の大きいドラム原料の置場固定や見える化が進められませんでした。次年度は日常管理に切り替わりますが継続して取り組んでまいります。
電気使用量の削減	品質保証部	102.5%	5月から7月までは生産量が落ち込み効率が低下しておりましたが、生産量が戻った9月以降は全て目標達成となり累計でも目標達成となりました。次年度は構内LED化などの効果でさらに電気使用量の削減を期待しています。

中京化成工業株式会社  
品質・環境への各種取り組み



タブレットを使った現場での製品包装の確認



構内掲示



検査サンプル容器の透明化(可視化)



緊急事態への対応

- ・漏洩テスト
- ・非常呼集、消火訓練(防災教育)





中京化成工業株式会社

CKK CHUKYO KASEI KOGYO CO., LTD.

ISO9001:2015 (JQA-QM3984)

ISO14001:2015 (JQA-EM4081)

〒448-0008

愛知県刈谷市今岡町西吹戸 10-1

TEL: (0566)36-3690 (代表)

FAX: (0566)36-6156

URL: <http://www.c-k-k.co.jp>

10-1, Nishifukido, Imaoka-cho

Kariya-City, Aichi-Pref., JAPAN

TEL: 0566-36-3690 (General Line)

FAX: 0566-36-6156